

平成23年第9回教育委員会記録

平成23年6月8日（水）

杉並区教育委員会

教育委員会記録

日 時 平成23年6月8日(水) 午後2時00分～午後2時14分

場 所 教育委員会室

出席委員 委員長 大藏 雄之助 職務代理者 宮坂 公夫
委員 田中 奈那子 委員 對馬 初音
教育長 井出 隆安

欠席委員 (なし)

出席説明員 事務局次長 吉田 順之 教育部 教育改革担当長 渡辺 均
教育委員会事務局参事 田中 哲 庶務課長 北風 進
教育人事企画課長 佐藤 浩 教育委員会事務局事務包括指導主事 白石 高士
教育改革推進課長 齊藤 俊朗 学校適正配置担当課長 幸内 正治
学務課長 日暮 修通 社会教育課長 植田 敏郎
済美教育一長 玉山 雅夫 済美教育一長 田中 稔
中央図書館長 本橋 正敏

事務局職員 法規担当係長 佐野 太一 計画担当係長 東條 正枝
担当書記 島崎 和也

傍聴者数 2名

会議に付した事件

(報告事項)

- (1) 杉並区教育ビジョン策定委員会について
- (2) 平成23年度小・中学校への学校司書の配置について

目 次

議事録署名委員の指名について・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3

報告事項

(1) 杉並区教育ビジョン策定委員会について・・・・・・・・・・ 3

(2) 平成23年度小・中学校への学校司書の配置について・・・・ 5

委員長 それでは、本日の会議を始めます。

平成23年第9回杉並区教育委員会定例会を開催いたします。

本日の議事録署名委員は、宮坂委員にお願いいたします。

本日の議題に入ります。

議事日程は、ご案内のとおり報告事項が2件となっております。

それでは、報告事項の聴取を行います。

杉並区教育ビジョン策定委員会についての説明を、庶務課長からお願いいたします。

庶務課長 私からは、杉並区教育ビジョン策定委員会につきましてご報告を申し上げます。

新たな教育ビジョンの策定につきましては、既に新教育ビジョンの策定方針をご決定をいただいているところでございますけれども、5月17日に第1回の策定委員会を開催いたしましたので、そのご報告をするものでございます。

当日は、まず策定委員の委嘱を行ってございます。別紙の資料をご覧くださいと存じます。

策定委員は、学識経験者2名、団体推薦が3名、公募の区民の方が2名、学校関係者4名、教育委員会事務局が2名、計13名で構成をしてございます。

また、委員の互選によりまして、学識経験者の永井順國委員が委員長に選任をされました。また、委員長から同じく学識経験者の坂野慎二委員が、委員長職代理に指名を受けてございます。

また、当日は事務局からこれまでの教育ビジョンの概要と主要な取り組み、評価やこれまでの10年における教育改革をめぐる主な動きなどに関しましてご説明をした後、教育に関する思い、あるべき姿などにつきまして、自由に意見交換を行っていただきました。

主な意見につきましては、記載をしてあるとおりでございますけれども、例えば、東日本大震災を受けて、改めて人と人との絆、支えあいの大切さを再認識をされたということとか、一方的に教える「教育」ではなくて、共に育むの「共育」を目指してはどうかなど、今後のキーワードになるような貴重なご意見をいただいております。

今後、会議録資料等につきましては、ホームページにて順次公開をしております。

今後の当面のスケジュールでございます。6月から7月にかけて第2回、第3回でございますが、杉並の目指す教育の目標、方向性などをご議論いただきまして、9月の策定委員会までにこの議論を整理しまして、大まかな骨子にまとめていきたいというふうに考えてございます。

私からの説明は以上でございます。

委員長 ただいまのご説明につきまして、ご質問、ご意見はございますでしょうか。

どうぞ。

宮坂委員 この名簿の方はあるんですけども、一般公募お二人というのは職業はわかりますか。
それともう一つ、この一般公募というのは、何か募集するんですか。

庶務課長 広報すぎなみで募集をかけまして、作文を提出していただきました。その採点結果で2名を選んでございます。

職業は、ちょっとお待ちください。

野口さんは、大学院生でございまして、特別支援学級の研究をされているところで、実際にアルバイト等で学校に入られた経験もあるという方でございました。神谷委員につきましては、PTAの会長OBだと思います。天沼地区だったと思います。今、学校関係でいろいろご意見をいただいております。

對馬委員 学校運営協議会とか地域運営学校の委員をやっている……

庶務学校 そうですね、杉並区の学校支援本部の方でご活躍されているというふうに聞いてございます。

宮坂委員 ありがとうございます。

委員長 他に何かございましょうか。

教育長 今、区の方でも基本構想、今後どうする10年間の話し合いに入っております、土曜日にも100人の方から意見を聞く会があったんですけども、そこでもそうでしたし、この教育ビジョンの策定委員会でも共通していることは、非常に教育とか子どものこと、あるいは社会のこと、文化・スポーツについて、やっぱり前向きにとらえて発言をさせていただいているという感じがします。

特に、今、一般公募の野口さん、この方は学生なんですけれども、ご自身が特別支援教育に関わった経験であるとか、あるいはアルバイトで社会的に関わった経験であるとか、彼女自身が居酒屋でという言い方をしていましたけれども、いろんな所で、いろんな人に関わり合う中で、教育のあり方とか文化のあり方とかいうものを、本当に真剣に考えられている方で、私どももこういった委員の発言を真摯に受けとめて、どういうふうな形にしていったらいいか考えていきたいというふうに思っております。

坂野委員にしても永井委員にしても、学校教育とか社会教育に大変造詣の深い方ですので、そういう意味ではそういった方面からのご意見もいただけますし、当然、その各団体から選考でおいでいただいている方たちもいろいろな経験をお持ちの方ですので、是非いろんな意見を伺って、広くこれからの杉並の教育を考えていきたいというふうに、今考えているところです。

委員長 どうもありがとうございました。

他に何かございますか。

何人ぐらい公募のご応募はあったんですか。

庶務学校 12名でございます。

委員長 ああ、そうですか。

では、よろしゅうございますか。

それでは、どうもありがとうございました。

それでは、続きまして、平成23年度小・中学校への学校司書の配置についての説明を、教育人事企画課長からお願いいたします。

教育人事企画課長 平成23年度小・中学校への学校司書の配置についてご報告申し上げます。

4月13日の教育委員会におきまして、今年度、新たに22名の学校司書を採用し、小学校は各分区1校ずつ計7校に、中学校は昨年度までの未配置校15校に配置する旨を報告させていただきました。その後、5月上旬に第一次選考として課題論文選考、5月中旬に第二次選考として面接選考を実施し、22名の学校司書を決定いたしました。資料をご覧ください。

資料の1番、平成23年度学校司書採用者の状況についてでございますが、今年度の申込者数は計77名で、倍率は最終的には3.5倍となりました。合格者の平均年齢は43歳、居住地は区内15名、区外7名、そして地域大学の受講者数は9名でございます。

配置校につきましては、資料の中段でございます、2の配置校のとおりでございます。

表の左側が新規配置校になります。これで小学校は各分区3校、43校中21校、中学校は全23校への配置となりました。

なお、新規採用の学校司書につきましては、6月1日付でそれぞれの学校に配置したところでございます。

今後、学校司書の活動状況等につきまして、積極的に区教育委員会ホームページや区の教育報等により周知していきたいと考えております。また、学校司書の資質能力の向上に向けて、研修を充実させるとともに、管理職に対して、学校司書の役割や活用のあり方等について、繰り返し指導・助言を行うことを通して、学校図書館運営の充実を図ってまいります。

簡単ではございますが、以上でございます。

委員長 どうもありがとうございました。

ご質問がありますか。

ご意見、ご質問、はいどうぞ。

対馬委員 すみません。私も初日に皆さんとお会いしました。とてもいい方がたくさん来てくださってよかったなと思っています。一つ、その時にも現場の副校長先生から話が出ましたが、振替休日のとり方の件ですね。土曜日に出勤した時に、その週の中からとるというのはちょっと現場

に、そして次の月曜日の学校が振替休日の日にとれないというのは、現場にそぐわないという意見が出ていたと思いますので、なるべくそれはやはり現場に沿う形で、要するに、区のパートタイマーに合わせていくと、どうしてもずれが生じてくるということのようなので、これはやっぱり、そのところは直していけたらいいかなと。

それから、もう一つ、区外の方が7名ということで、交通費が上限1万円と、もちろんそれを知っていて、皆さん今いらっしゃるんですけども、恐らくやっぱり区のパートタイマーということだと、近所の人たちがという枠の中で、今、雇っていることだと思うんですが、やはり専門職をとるところを追求したところで、区外の方を採用することになっていると思うんですね。そのところも改善できたらいいなと望んでおりますので、よろしくをお願いします。

教育人事企画課長 はい、わかりました。

委員長 他にございますか。どうぞ。

田中委員 スキルアップのための研修はもちろん大事だと思うんですけども、今後、年間どのくらいの割合で研修を実施していくんでしょうか。

教育人事企画課長 研修につきましては、毎月1回で合計12回予定しております。これが学校司書だけを対象にした研修で、その他にも教員の研修が学校図書館研修だとか、司書教員研修とかありますので、そういった研修にも参加できるように進めていきたいと思っています。

委員長 先ほどの。はい、どうぞ。

対馬委員 そうじゃなくて、研修のための交通費は今、司書には月に1回しか出ないから、2回目、3回目は行かないんじゃないんですか。いいんですか、出していただけるんですか。

教育人事企画課長 そのところも含めて、今、課題にはなっておりますので、上手くできるだけ調整して、できる範囲でやっていきたいと思っています。

それと、先ほどの代休、振り休の件なんですけれども、これは早速、私、担当者からも報告をいただいておりますので、できるだけ柔軟に対応して、効果的な活用の仕方を進めていこうということで、今、検討をしているところでございます。

あと交通費につきましては、これは教育委員会だけの問題ではなくて、全区的な問題になりますので、そこは上手く調整してやっていきたいと思っているんですが、なかなか実現は厳しい状況でございます。

委員長 他にございますか。

田中委員 男性の応募は全くなかったんでしょうか。

教育人事企画課長 ありましてですね、9名いらっしゃいました。

委員長 あの、これの、それからこの1の(4)23年度地域大学受講者数9名というのは、採用者

の中の9名ですか。

教育人事企画課長 そうです。実際受講したのは、申込者の中では14名いました。

委員長 ああそうですか。

他に何かございますか。はい、どうぞ。

教育長 今後大事になってくることは、こういった学校司書の研修はもちろん当然のことですけれども、学校の教育活動の中に学校司書をどう生かしていくかという、学校側の研修も非常に重要になってくるんですね。この間、図書ボランティア等のお力添えで図書室がきれいになったり、読み聞かせをしていただいたり、あるいは調べ学習のお手伝いをしていただいたりして、だいぶ教育の活性化と申しますか、学校の図書室を活用した学習が進められてきているんですけども、なかなかそれが全校的に広がっていかない部分、つまり図書室に行って本を読んできなさい的な取り組みだと、良さがなかなか広がっていかない。教員の教育活動と、学校司書のサポート態勢が上手くかみ合っていくような、そういう研修をやっていく必要があるだろうと思います。

校長には、やはりかなり学校司書の力、力量のある人たちを配置していますので、その力量を引き出して、自分の学校の教育活動がより活性化するような、そういう啓発をしていただきたいと思えますし、教員についてはこういった学校司書とタイアップして、今までできなかったことをさらに展開していくというようなことも、是非やってもらいたと思っていますので、そういう研修を今後、加えてやっていきたいというふうに思います。

委員長 他に何かございますか。

それではありませんで、結構でございます。

どうもありがとうございました。

それでは、以上で報告事項の聴取を終わります。

予定されました日程は全部終了いたしました。

庶務課長、次の日程等について。

庶務課長 次回の定例会の日程でございますが、6月の22日水曜日、午後2時からを予定してございますので、よろしく願いいたします。

委員長 それでは、本日の委員会を閉じます。

どうもありがとうございました。